

新年の御祝辞

議会議長 押川 熊次郎

年頭に当り

謹んで新春を寿ぎ併せて町民皆様の御健祥と今後の弥栄を心から祈念いたします。



昨年中我が田代町議会は本会議委員会等実に二〇回に及び、会議延日数三十日、議員の出席率一〇〇%に近い好成績で合計七十二件の重要な議案、請願、陳情等を審議可決いたしました。

その間、町内全婦人会長、又、年末議会では田代中学校三年生が社会科研究のために、特に傍聴せられる等町議会の議案審議や活動状況を見学し、深く御認識頂きましたこと感謝にたえません。新しい年の田代町の仕事は内々に更に多事多端であります。

その内重要なものをあげて見ます、

- 一、花瀬分校の本校統合による教育効果の昂揚と田代中学校舎新築後における拡充整備、
- 二、花瀬、新田間の農免道路第一期工事着工（三年間継続事業）
- 三、農林業構造改善事業の具体的促進と国の補助による肉畜放牧経営技術施設の発足。
- 四、麓川河川改修の大規模な工事促進。
- 五、田代、大根占間県道の拡布改修と中央線の大巾予算の獲得運動。
- 六、花瀬公園を中心とする産業経済的観光開発等々重要な問題が沢山あります。

このような大事業は、町民皆様の深い御認識と御協力の下、町議会と執行部がそれぞれ主体制を堅持し、渾然一体となって強力果敢に推進しなくてはなりません。幸いにして、我が町議会は人皆健在であります。

議会に臨んでは常に是非々々堂々の論議を張り、議会の真価を充分發揮し、皆さまの御期待に

添うより努力しております。

尚、茲に特筆すべきは、県議会に実力者柴立芳文先生を持ち、加えて中央政界においては鹿児島県における二本の柱なりとの定評ある、今を時めく二階堂、山中両先生を戴いて、その名コンビの下、本町の為に総ての方面に亘り常に格別の御配慮を賜っていることとでありまして、衷心感謝にたえないところであります。

茲に新年を迎えるにあたり、我が田代町議会は一層感激を新ににして福祉田代町、躍進田代町建設の為に全力を傾倒して健闘することを御誓いいたします。

十二月定例議会



どうぞ御鞭撻と御協力を給りますよう心からお願ひして新年の御祝詞といたします。

昭和四〇年第六回田代町議会定例会は12月16日田代町議事堂に於て開会され、提出された八議案を原案どおり可決、又9月24日定例会で特別委員会に審査が付託されていた「昭和39年度各会計決算認定について」は、特別委員8名を代表し、委員長町議員より審査の報告が行われ各会計決算とも原案どおり承認されました。

尚、大原地区団体加入電話組合長、川前富造氏より請願された、同組合への助成請願については、内容調査の必要あるものとし、特

別委員会へ、その審査が付託され早急に審査を行い結論を出すことにされました。

又今回提案された主な議案は、職員の休日及び休暇に関する条例職員の勤務時間に関する条例制定で、休暇の種類及び内容を国家公務員の例により整備したものであります。

予算関係に於きましては、一般会計予算に五、一一二千元が追加され、総額で一六二、八二二千元となりました。これを昨年の現在と比較しますと、四五、四七一

千円、一昨年に比較しますと、九四五九〇千円がそれぞれ増額となっております。今追加された主なものは、農業振興に対する各種補助、農林業構造改善事業に要する各費、田代中学校舎用備品、大原中ピアノ、田代中学校地復旧事業、農地災害復旧に要する経費でありましたが、これに要する財源は、地方交付税、国庫補助金、町債等であります。

その他議案外といたしまして、東京都で行われた全国町村長大会、全国町村議長大会に出席された町長及び議長より概況の報告があり、又東北地方へ産業行政視察された議員四名を代表し柴立議員より視察の報告、最後に町の一般行政に

対し、岩下議員より、農業の省力栽培普及援助と研究費について、妻生田議員より、経済振興に対する町政の今後の進め方について柴立議員より、住民の健康増進と環境衛生の徹底を期する対策農業構造改善事業実施に伴う対策について、

刃志切議員より、葉たばこ収納所の復活について、門前議員より、花瀬公園開発に関すること、産業経済について

町内十大ニュース



昨年度中の町内における十大ニュースをまとめてみました。

ことしは特に目立つニュースはありませんでした。

土木や建設事業が大部分をしめています。

順序は発生の月順にしました。

②田代中学校にブラスバンド誕生

田代中学校では、校舎の移転新築を機会にブラスバンドの編成を念願していたが、PTAなどの協力を得て楽器を購入し、夏休み中も一生懸命の練習を行い、すでに学校の運動会や町民運動会にも活躍しました。



④田代大根占間の県道改良工事開始

並びに鹿屋・吾平・大泊（中央線）地方主要道の認定を受け大手越等改良工事始まる

田代大根占間の県道の改良は、新道路開発五カ年計画で行われますが、40年度は川原別れ附近が事業費900万円で改良されます。

引続いて41年度も相当額の予算が計上されて改良工事は行われる予定で、完成後は田代、大根占間の距離は相当短縮されることになります。尚、中央線は、昭和40年4月地方主要道として国の認定を受け、本年度は3,000万円の工事費で、うと越から長谷部落の方へ改良が行われ、41年度も引続いて改良工事が予定されています。



①林業構造改善事業始まる

この事業は農業構造改善事業と並行して、林業従事者の所得の増大をはかるため、昭和40年度より向う3カ年間に4,800万円の事業費で林道の新設や、部分林の設定を行います。本年度は、1,673万円で猪鹿倉の川路線、大根田の扇島線や部分林77町、チップ工場などの整備を行います。



③山口登氏、中島勲氏所有牛が郡畜産共進会で一等賞に入賞

9月29日鹿屋市で行われた肝属地区畜産共進会で和牛155頭が出陳しましたが、田代町より出陳しました7頭のうち、一部及び二部でそれぞれ両氏の和牛が一等に入賞しましたが、一等に入賞したのは田代町では今までにないことで、田代町和牛の名声を博くしてくれました。

